

千畑中学校が2年連続アベック優勝 美郷町中学校新人駅伝競走大会

10月20日に美郷町中学校新人駅伝競走大会が行われ、町内の3中学校を含む19校が出場し、千畑地区のコース（男子は7区間17.9Km、女子は5区間11.7Km）を走り、たすきをつなぎました。

昨年より3校が多く出場した今年の大会には、各中学校3年生を除く、1、2年生が出場。田沢湖駅伝や県中学校総体駅伝で好成績を残した千畑中学校が、男女ともに優勝を果たしました。なお、本町の各中学校の成績と区間賞受賞選手は次のとおりです（敬称略）。



町内中学校の成績

【男子】優勝	千畑中学校	59分01秒
第4位	六郷中学校	1時間00分49秒
第8位	仙南中学校	1時間01分45秒
【女子】優勝	千畑中学校A	42分23秒
第3位	仙南中学校	43分10秒
第4位	六郷中学校A	43分47秒
オープン参加	六郷中学校B	47分28秒
オープン参加	千畑中学校B	50分02秒

区間賞受賞選手

【男子】第2区	西鳥羽 涼	(千畑中2年)
第3区	深澤 拓未	(千畑中2年)
第5区	細井 楓季	(千畑中2年)
第6区	伊藤 琢真	(六郷中1年)
第7区	大阪 飛翔	(千畑中2年)
【女子】第1区	高橋比奈子	(千畑中2年)
第2区	鈴木 有沙	(仙南中1年)
第3区	熊谷 梢	(仙南中1年)
第5区	高橋 美礼	(千畑中2年)

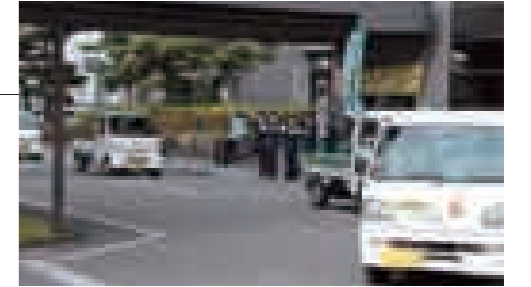


▲アベック優勝を果たした千畑中学校

安全で安心して暮らせる町を目指して 美郷町防犯パレードが行われました

10月10日～20日まで実施された地域安全運動の一環として、10月12日に町防犯協会と町交通指導隊の皆さんによる防犯パレードが行われました。

同日朝には役場庁舎前で出発式が行われ、菊地孝大仙警察署長や金勇人美郷交番所長、松田町長、パレード参加者ら約30名が出席しました。交通指導車や軽トラックなど約20台の車両で役場庁舎を出発した皆さんは、3地区に分かれ、空き巣被害の注意や自動車などへの鍵かけの徹底を呼びかけました。



後三年鴻声の里 おいしいお寿司に舌鼓 秋田調理師会「大秋会」県南支部が料理慰問

10月12日に後三年鴻声の里（佐藤仁志施設長）で秋田調理師会「大秋会」県南支部（赤川忠勝支部長）の皆さんによる料理慰問が行われました。

この慰問は毎年行われており、今年で16回目となります。慰問では、施設の利用者数名が同支部の皆さんから教えていただきながら、握り寿司づくりに挑戦した後、全員で寿司や茶碗蒸しなどをいただきました。

現在、後三年鴻声の里から南に約200m離れた場所では新しい施設の建築工事が行われています。新しい施設は今年11月に完成する予定です。



安全な地域 美郷をめざして 第7回美郷町社会福祉大会

10月15日に美郷町公民館で第7回美郷町社会福祉大会（町社会福祉協議会主催、佐藤成輝会長）が行われ、約250名が出席しました。

大会では、佐藤会長から長年社会福祉活動に貢献のあった9名1団体に表彰状が、5名2団体に感謝状が贈られました。また、「共に手をつなぎ支えあう地域づくりの推進」「心身共に生き生き暮らす健康・生きがい活動の推進」「住民の手作りによる「福祉で地域づくり」の推進」に努めることを盛り込んだ大会宣言を参加者全員で採択しました。このほか、大会では北秋田市社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの活動報告や、六郷小学校と仙南西小学校、金沢小学校の3校合同マジックショーなどが行われました。



500名を超す皆さんが楽しみました 美郷町芸術文化協会 芸能発表会

10月17日に美郷町公民館で美郷町芸術文化協会加盟団体による芸能発表会（同協会主催）が開かれました。

発表会には同協会に加盟している35団体・個人が参加し、唄や踊り、コーラスなど日ごろの成果を発表しました。このうち、昨年度から同協会に加盟している美郷ジャズオーケストラは、ムーンナイトセレナーデとラブミーテンダーを披露しました。会場には500名を超える観客が来場し、唄や踊りに合わせて手拍子をするなど、楽しいひとときを過ごしました。



平成23年度北東北総体の会場でタイムトライアルに挑戦 第7回美郷町チャレンジサイクル大会

10月17日に美郷町自転車競技場で第7回美郷町チャレンジサイクル大会（町スポーツ振興事業団、自転車競技愛好会六郷練習所主催）が行われ、町内外から参加した約30名がタイムトライアル競技に挑戦しました。競技の前にはプロの競輪選手による講習会も開かれ、自転車の乗り方や調整方法を熱心に教わる子どもたちの姿が見られました。このほか、参加した皆さんはローラー計測器を使ってプロの記録に挑戦したり、エキシビジョンレースを楽しみました。



美郷町は平成23年度全国高等学校総合体育大会自転車競技（トラック競技）の開催地です。
開催日●平成23年8月9日（火）～11日（木） 開催場所●美郷町自転車競技場



「それが一番大事」

美郷町長 松田 知己



テレビ番組で美郷米をPRする松田町長とふるさと大使のブラボー中谷さん

「あの時にやってあげれば良かったなあ」。こんな反省は、誰しも経験があることだろうと思います。ですから「後悔先に立たず」とか「転ばぬ先の杖」といった格言もあるわけですが、分かっているがなかなかできないのも「人」。「だからこそ人生に味わいも生まれるんだ」なんて嘯きたいところですが、事柄によってはそんな呑気に構えてはいられないことも確かにあります。

町が今年6月議会で予算確保し、中学生を対象に8月から実施している子宮頸がん予防ワクチン接種はその一つ。ワクチンで完全予防できるわけではありませんが、予防効果が高まるのであれば、科学的な知見に基づき、効果を期待できる年代に的確な対応をするのが「転ばぬ先の杖」。そのため、経費の3分の2を助成、接種しやすい環境整備に努めたところです。その結果、9月末現在の1回目接種率は実にほぼ9割という状況です。改めて、保護者の健康に関する意識の高さや子を思う気持ちの強さを実感しているところであります。しかしながら、では保護者年代の方々ご自身のがん予防についての意識はどうか、という点必ずしも同じ意識とは言えない状況があるようにです。

私は今年度から県総合政策審議会委員を拝命するとともに、その内部部会の「いのちと健康を守る安全・安心部会」に所属し、意見を述べさせてもらっています。その中には「総合的ながん対策の推進」というテーマもあります。残念なことには統計では県民のがん検診受診率は低下しているとのこと。これには様々な要因が絡んでいると思いますが、やはり一義的に大切なのはご自身の受診意識です。その啓発のために毎年9月を「がん征圧月間」としていますが、みなさんにはそれ以外にもいろいろな機会をとらえ、がん予防や早期発見のための検診に認識を深めていただきたいと思うところです。

と云うことで、来月になれば来年度の早朝セット検診についてご説明することになると思いますが、その際には「がん検診」を意識してください。何より大切なことは、やはり健康についてです。「それが一番大事」ですから。